

CS1762A/CS1764A

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS1762A/CS1764A 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2011年5月13日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は1年間です。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品の KVM スイッチ、キーボード・マウスコンバータ、キーボード・マウスエミュレータ、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
目次	1
FCC	4
RoHS	4
SJ/T 11364-2006	5
安全にお使い頂くために	6
全般	6
同梱品	8
本マニュアルについて	9
マニュアル表記について	10
第1章	11
製品概要	11
特長	13
ハードウェア要件	14
コンソール	14
コンピューター	14
ケーブル	14
OS	15
製品各部名称	16
CS1762A フロントパネル	16
CS1764A フロントパネル	16
CS1762A リアパネル	19
CS1764A リアパネル	19
第2章 セットアップ方法	21
ケーブルの接続方法	21
接続図	23
第3章 基本操作	24
手動切替	24

マウスによるポート切替	25
ホットプラグ	25
電源 OFF と再起動	25
ポート ID の割り当て	26
ポートの手動選択に関する代替設定	26
第 4 章	27
ポート切替	27
ポート切替(循環切替)	27
ポート切替(ダイレクト切替)	28
オートスキャン	30
ホットキーセッティングモード	31
ホットキーセッティングモードの起動	31
ホットキーセッティングモードの代替起動キー	32
ポート切替の代替キー	32
キーボード操作プラットフォーム	33
切替設定の一覧表示	33
USB リセット	34
キーボード言語	34
ホットキービープ音	34
ポート切替キー	34
ファームウェアアップグレードモード	35
デフォルト設定のリストア	35
ビデオダイナシク	35
ポートの手動切替の代替設定	36
マウスエミュレーション	36
マウスによるポート切替	36
その他の OS モード	37
ホットキーセッティングモード一覧表	38
第 5 章 キーボードエミュレーション	40
Mac キーボード	40
Sun キーボード	42
第 6 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティー	44
作業を始める前に	44
アップグレードの開始	45
アップグレード成功	47
アップグレード失敗	47

付録.....	48
製品仕様.....	48
トラブルシューティング	50
ホットキーのデフォルト設定.....	52

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために3ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがあります

ので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。

- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS1762A/CS1764A 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS1762A/CS1764A USB DVI KVMP スイッチ ×1
- ◆ DVI-D KVM ケーブル(CS1762A) ×2
- ◆ DVI-D KVM ケーブル(CS1764A) ×4
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CS1762A/CS1764Aに関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: CS1762A/CS1764A を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ: 基本的なハードウェアセットアップの手順について説明します。

第3章 基本操作: CS1762A/CS1764A の機能概要および操作方法について説明しています。

第4章 ホットキー操作: CS1762A/CS1764A のホットキー操作に関する機能概要、および操作手順について説明しています。

第5章 キーボードエミュレーション: Mac キーボード・Sun キーボードの各エミュレーションについて対応表を用いて説明します。

第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: お使いの CS1762A/CS1764A のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

製品概要

CS1762A/CS1764Aは、2ポートUSBハブを搭載し、DVIモニター用のインターフェースを提供する、2/4ポートUSB KVMスイッチです。さらに、本製品はATENの新技术「ビデオダイナシク」により、ブート時のディスプレイ問題を回避し、解像度を最適化できるのが特長です。このほかにも、選択中のコンピューターの電源がOFFになると、電源がONになっている次のコンピューターに自動的に切り替える「電源状態検知機能」を搭載しています。

CS1762A/CS1764Aは、KVMスイッチとして、1カ所のコンソール(USBキーボード、USBマウス、モニター)から2/4台のコンピューターを切り替えることができます。また、USB2.0ハブの機能も備えており、このUSBポートに接続されたUSBデバイスをコンピューター間で共有し、これを切り替えて操作することができます。

KVMとUSBハブの操作は個別に切り替えることができるため、本製品があればUSBハブやデバイス共有器を別途購入する必要がなくなります。

CS1762A/CS1764Aには、DVIモニターと、USBキーボード・マウスに対応したコンピューターを接続してお使いいただけます。DVIはデジタルビデオ入力(フラットパネルディスプレイ、プロジェクター、プラズマディスプレイ、デジタルTV、セットトップボックス)とアナログビデオ入力(アナログモニター・テレビ)の両方に対応しています。

CS1762A/CS1764Aはオーディオにも対応しています。音声入力用のマイクは1台(CS1762A)/2台(CS1764A)接続することができます。また、音声出力用のスピーカーは1台(CS1762A)/2台(CS1764A)接続し、一度に一台のコンピューターで選択して使用することが可能です。USBデバイスと同様に、オーディオもKVMと独立して切り替えることができます。

セットアップは、必要なケーブルをポートに接続するだけですので、簡単で時間もかかりません。ソフトウェアのセットアップは不要ですので、定期アップグレードや互換性の問題に悩まされることもありません。CS1762A/CS1764Aはキーボード入力をダイレクトに受信しますので、様々なプラットフォーム(PC(x86/x64)、Mac、Sun)のコンピューターを接続してお使いいただけます。

コンピューターへのアクセス方法には、フロントパネルのプッシュボタンによるポート選択、キーボードからのホットキー入力、そして、マウスによるポート切替(USBマウスのホイールをダブルクリックで切替)の3種類があります。

CS1762A/CS1764A の導入によって、作業時間の短縮やコストの削減が期待できます。CS1762A/CS1764A は1カ所のコンソールから製品配下のコンピューターを操作することができますので、コンソールをコンピューター毎に揃える必要がなくなります。また、スペース効率が高く、光熱費のコストダウンにも大きく貢献し、操作するコンピューターに合わせて作業場所を移動する必要がなくなるといったメリットもあります。

特長

- ◆ 1箇所のコンソールから2台(CS1762A)/4台(CS1764A)のDVIインターフェースに対応したPCと2台のUSB2.0デバイスの操作が可能
- ◆ 2ポートのUSB2.0ハブ内蔵
- ◆ USB2.0仕様準拠
- ◆ コンピューター切替方法 - フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー、マウス
- ◆ オーディオ対応 - ベースレスポンスに優れた2.1chサラウンドオーディオ出力
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows 2000/XP/Vista/7、Linux、Mac、Sun*
- ◆ ワイド画面解像度対応
- ◆ 解像度 - 1,920 × 1,200@60Hz、DDC2B 準拠
- ◆ KVM、USB、オーディオは個別切替可能
- ◆ DVI デジタル/アナログディスプレイ対応 - DVI 仕様準拠
- ◆ HDCP 準拠
- ◆ ビデオダイナシンク(ディスプレイエミュレーション) - コンソールディスプレイのEDIDを保存し、解像度を最適化
- ◆ 電源状態検知機能 - コンピューターの電源がOFFになると、電源が入っている次のコンピューターに自動切替
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション - 多機能マウス対応
- ◆ キーボードエミュレーション機能でブート時のエラーを回避
- ◆ Sun/Mac キーボードエミュレーション対応*
- ◆ 多言語キーボードマッピング - 英語、日本語、フランス語の各言語のキーボードに対応
- ◆ オートスキャンモード - 製品に接続されたコンピューターやDVIデバイスを自動的に切替表示
- ◆ USBポート経由でのファームウェアアップグレードが可能

-
- 注意:**
1. 全詳細については、p.52「ホットキーのデフォルト設定」をご参照ください。
 2. PCキーボードを使用した場合はキーの組み合わせでSun/Macキーボードの特殊キーが入力できますが、Sun/Macキーボードを使用した場合はWindowsマシンでは特殊キーが効きません。
-

ハードウェア要件

コンソール

- ◆ 接続されたコンピューターの解像度に適した DVI モニター
- ◆ USB マウス
- ◆ USB キーボード
- ◆ マイク・スピーカー(オプション)

コンピューター

製品に接続するコンピューターには、下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ DVI ポート

注意: ディスプレイの品質は、DVI ディスプレイカードの品質に左右されます。最高の状態でお使い頂くために、これらのディスプレイ関連のアイテムには高品質の製品を購入されることを推奨します。

- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ オーディオポート(オプション)

ケーブル

CS1762A/CS1764A には、本製品向けに設計された、1.8m の DVI-D KVM ケーブルのみを接続してお使い頂くことが可能です。これらのケーブルは、製品パッケージに 2 本(CS1762A)/4 本(CS1764A)同梱されています。

注意: 表示画質は、ケーブルの長さにも左右されます。ケーブルを追加で購入される際には、販売店までご連絡の上、お使いの KVM スイッチに適したケーブルをご確認ください。

OS

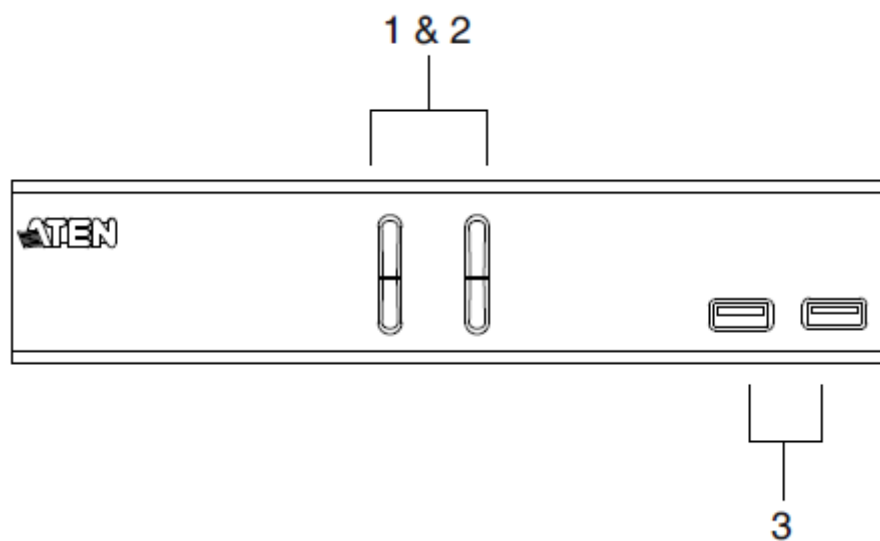
本製品の対応 OS は下表のとおりです。

OS		バージョン
Windows		XP、Server 2003/2003 R2、Server 2008/2008 R2、Vista、7
Linux	Red Hat	9.0 以降
	SuSE	10、11.1 以降
	Debian	3.1、4.0
	Ubuntu	7.04、7.10
UNIX	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	5.5 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac		OS 9～10.6(Snow Leopard)

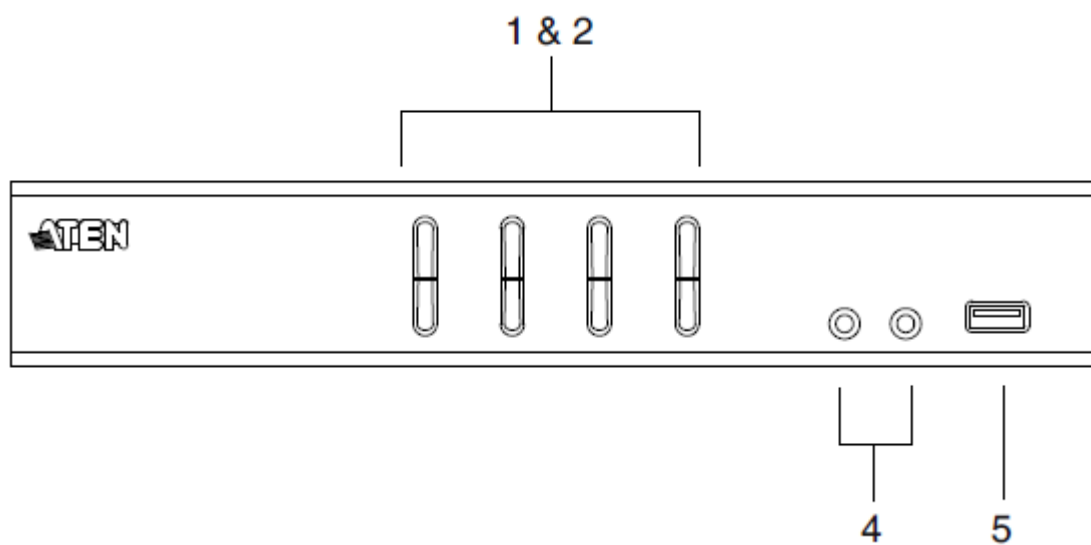
- 注意:**
1. Linux Kernel 2.6 以降に対応します。
 2. CS1762A/CS1764A には USB2.0 ハブを内蔵しています。USB2.0 に対応していないコンピューターや OS を接続した場合には、このハブの使用はサポートされません。

製品各部名称

CS1762A フロントパネル



CS1764A フロントパネル

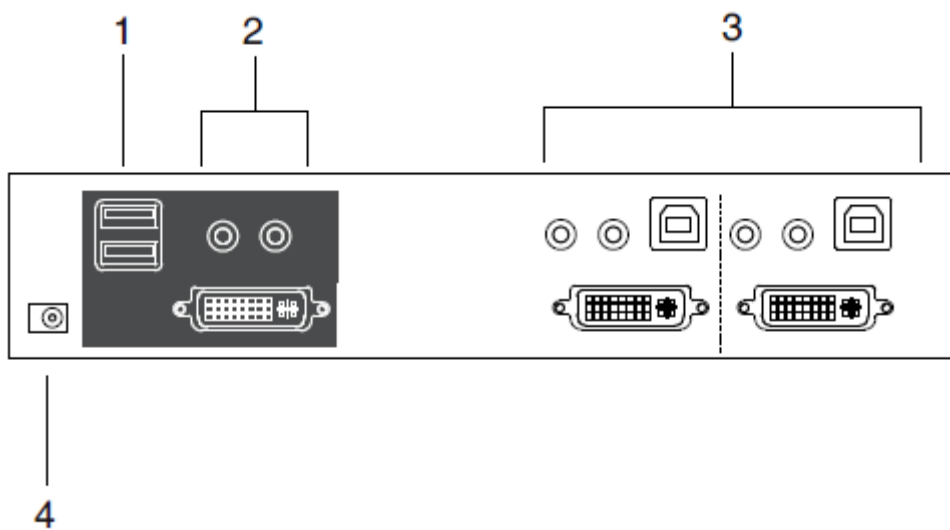


No.	名称	説明
1	ポート選択ボタン	<p>手動でポート選択を行う場合 (p.24「手動切替」参照)は、下記に従って操作してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ボタンを 2 秒以上長押しすると、KVM・USB ハブ・オーディオをこのポートに切り替えます。 ◆ ボタンを 2 回押しすると、オーディオだけをこのポートに切り替えます。 ◆ ボタンを押して 2 秒以内に指を離すと、KVM 操作だけをこのポートに切り替えます。 ◆ ボタン 1 とボタン 2 を同時に 2 秒間押しすると、オートスキャンを開始します。詳細については p.30「オートスキャン」をご参照ください。
2	ポート LED ランプ	<p>このランプは、ポート選択スイッチに内蔵されています。上の LED が KVM ポート LED、下の LED が USB LED です。</p> <p>KVM</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 暗いオレンジ色に点灯している場合は、このポートに接続されたコンピューターに電源が入っている(オンラインである)ことを表します。 ◆ この色で点滅している場合は、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。 ◆ 明るいオレンジ色に変わった場合は、このポートに接続されたコンピューターで KVM 操作ができる(ポートが選択されている)ことを表します。 ◆ この色で点滅している場合は、このポートに接続されたコンピューターがオートスキャンモードでアクセスされていることを表します。 <p>USB</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 緑色に点灯している場合は、そのポートに接続されたコンピューターが USB デバイスにアクセスしていることを表します。

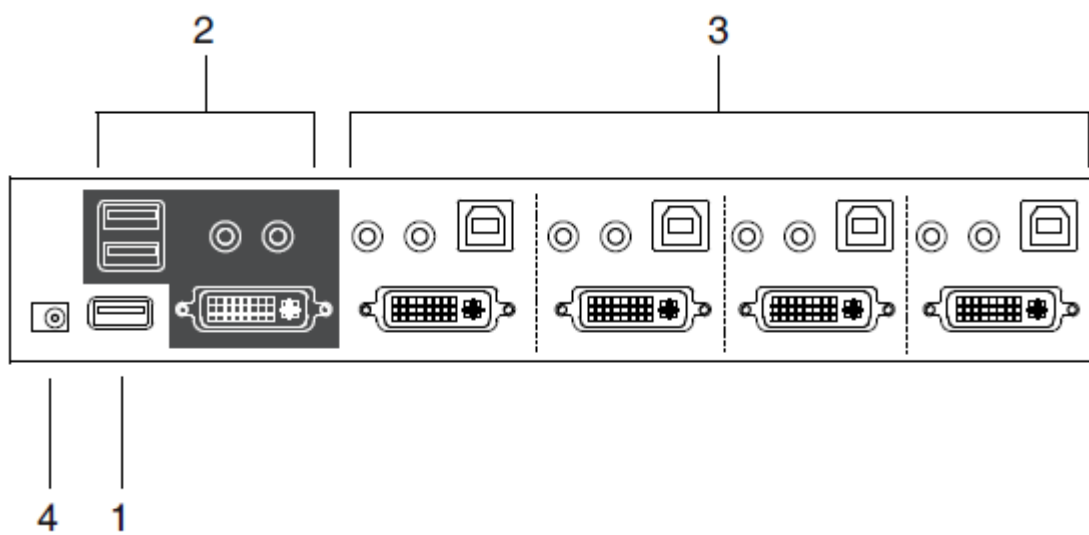
(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
3	USB コンソールポート	<p>(CS1762A のみ)USB キーボードや USB マウスをここに接続します。</p> <p>注意:CS1764A の USB コンソールポートは、リアパネル側にあります。</p>
4	オーディオポート	<p>(CS1764A のみ)スピーカーやマイクを使用する場合は、ここに接続します。ここに接続されたスピーカーやマイクは、リアパネルに接続されたものよりも優先的に使用されます。</p> <p>注意:CS1762A のオーディオポートは、リアパネル側にあります。</p>
5	USB2.0 ハブ	<p>(CS1764A のみ)プリンター・スキャナー等の USB2.0 デバイスは、このポートに接続できます(別途電源アダプターが必要になる場合があります)。</p> <p>注意:CS1762A の USB2.0 ハブポートはリアパネル側にあります。</p>

CS1762A リアパネル



CS1764A リアパネル



No.	名称	説明
1	USB2.0 ハブ	プリンター・スキャナー等の USB2.0 デバイスはこのポートに接続できます(別途電源アダプターが必要になる場合があります)。
2	コンソールポートセクション	<p>CS1762A - DVI モニター、スピーカー、マイクの各コネクタをここに接続します。各コネクタには接続ポートが識別できるようにそれぞれアイコン表示されています。</p> <p>注意:CS1762A のコンソール USB キーボード・マウスポートは、フロントパネル側にあります。</p> <p>CS1764A - DVI モニター、USB キーボード、USB マウス、スピーカー、マイクの各コネクタをここに接続します。各コネクタには接続ポートが識別できるようにそれぞれアイコン表示されています。</p>
3	KVM ポートセクション	製品本体とコンピューターを接続するケーブルは、この部分に接続します。KVM ポートセクションはそれぞれ、マイクジャック、スピーカージャック、USB タイプ B ポート、DVI コネクタから構成されています。
4	電源ジャック	電源アダプターのケーブル部分はこのジャックに接続します。

第2章 セットアップ方法



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピューターの電源ケーブルも抜いてください。

ケーブルの接続方法

CS1762A/CS1764A をセットアップする場合は、下記の接続図(図内における番号は手順に対応)を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

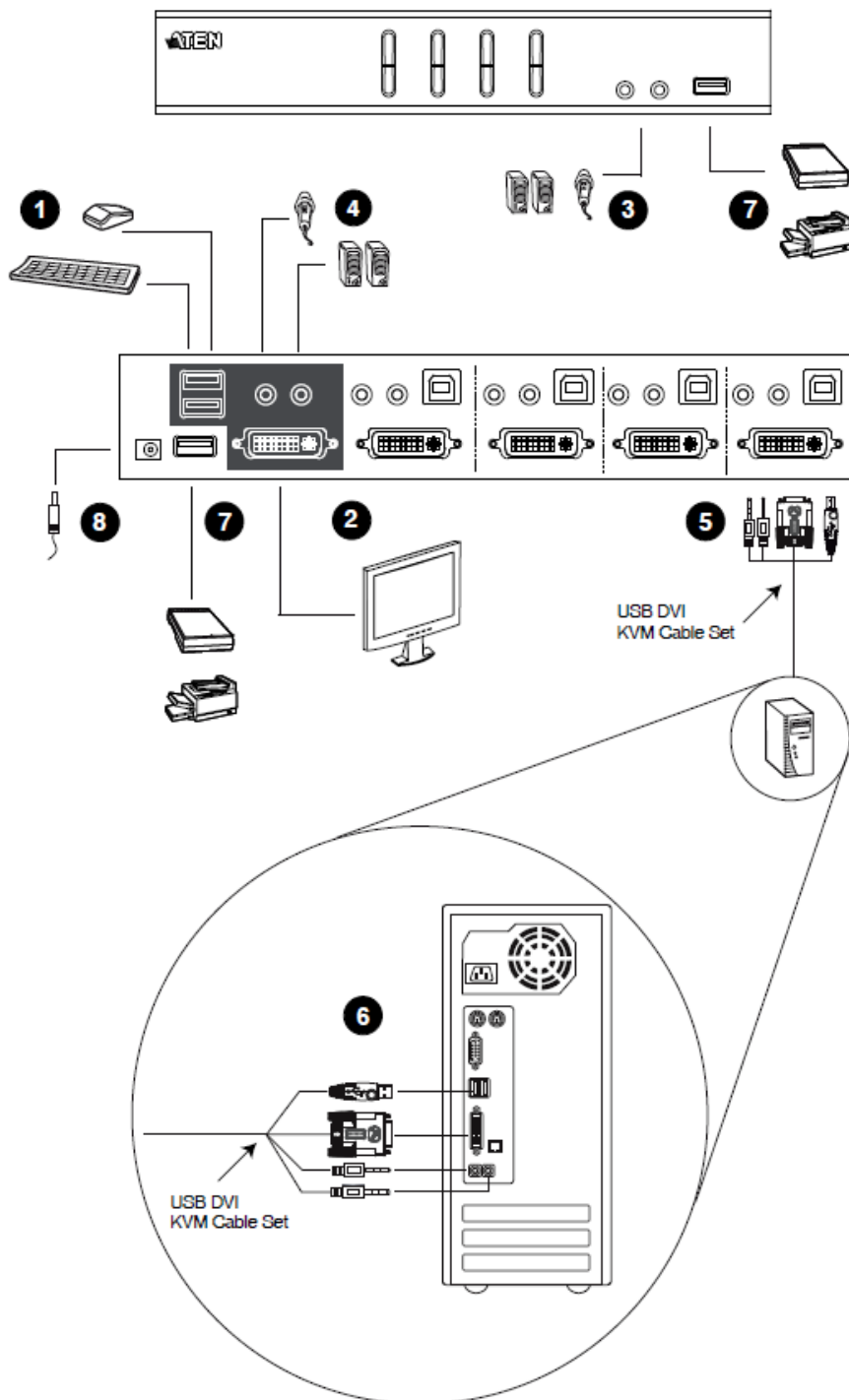
1. コンソールで使用する USB キーボードと USB マウスを、それぞれ本体リアパネルの USB コンソールポートに接続してください。
2. コンソールで使用するモニターを本体リアパネルの DVI コンソールポートに接続し、このモニターに電源を入れてください。
3. メインのマイクとスピーカーを、それぞれ本体フロントパネルのマイクジャックとスピーカージャックにそれぞれ接続してください。フロント側に接続されたマイクとスピーカーは、リア側に接続されたものよりも優先的に使用されます。
4. セカンドのマイクとスピーカーを、それぞれ本体リアパネルのコンソールオーディオポートに接続してください。

5. 製品に同梱されている KVM ケーブルの DVI コネクタを製品本体の KVM ポートの DVI ポートに接続してください。また、このケーブルの USB・マイク・スピーカーの各コネクタを、同じ KVM ポートの USB・マイク・スピーカーポートにそれぞれ接続してください。

注意: 同一ケーブルのコネクタがすべて同じ KVM ポート(例:すべてポート 1、すべてポート 2 等)に接続されていることを確認してください。各ポートには接続デバイスが識別できるようにアイコン表示されています。

6. 手順 5 で使用したケーブルの反対側にある、USB・モニター・マイク・スピーカーの各コネクタを、コンピューターの対応ポートにそれぞれ接続してください。
7. USB デバイスを接続して使用する場合は、本体の USB ハブポートにこのデバイスを接続してください。
8. 製品同梱の電源アダプターのケーブル部分を本体の電源ジャックに接続し、アダプター部分を AC 電源に接続してください。
9. 製品に接続されたコンピューターに電源を入れてください。

接続図



第3章 基本操作

手動切替

CS1762A/CS1764A に接続されているコンピューターへの接続には、手動(フロントパネルのポート選択ボタンを操作)、マウス(マウスホイールをクリック)、キーボードからのホットキーの 3 種類の操作方法をご用意しております。ホットキーについては次章で詳しく説明します。

手動でポートを切り替える場合は、下記の方法で操作してください。

- ◆ ポート選択ボタンを押して指を離すと、このポートに接続されているコンピューターに KVM 操作だけを切り替えます。このとき、USB とオーディオは切り替わらず、元のポートを選択した状態のままです。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 回押すと、このポートに接続されているコンピューターにオーディオだけを切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上長押しすると、KVM・USB・オーディオをこのポートに接続されているコンピューターに切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンのボタン 1 とボタン 2 を同時に 2 秒以上長押しすると、オートスキャンモードを開始します。詳細については、p.30 をご参照ください。
- ◆ オートスキャンモードの開始後に任意のポート選択ボタンを押すと、オートスキャンモードを終了します。この場合、その時に押したポート選択ボタンに対応したポートが選択状態になります。

マウスによるポート切替

本製品は、マウスによるポート切替に対応しています。これは、お使いの USB マウスのスクロールホイールをダブルクリックすることで、ポートを順番に切り替える操作です。

-
- 注意:**
1. この切替方法は、コンソールに USB 3-key スクロールホイールマウスを使用した時に限りご利用いただけます。
 2. デフォルトではこの機能は OFF に設定されています。
 3. この切替方法は、マウスエミュレーション機能が有効になっている時に限りご利用いただけます。詳細については p.36「マウスエミュレーション」をご参照ください。
-

ホットプラグ

CS1762A/CS1764A は USB ホットプラグに対応しています。このため、接続されている USB デバイスのコネクタを抜き差しするだけで、製品を再起動することなくデバイスの取り付けや取り外しが可能です。

電源 OFF と再起動

製品の電源を切る必要がある場合は、製品に電源を入れる前に下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 製品に接続されたコンピューターをすべてシャットダウンしてください。
2. 製品に接続された電源アダプターを AC 電源から外してください。
3. 10 秒ほど経過したら、手順 2 で取り外して電源アダプターを再度 AC 電源に接続してください。
4. 製品が起動したら、接続されているコンピューターに電源を入れてください。

ポート ID の割り当て

CS1762A/CS1764A の各 KVM ポートには、ポートナンバーが割り当てられています(CS1762A では 1~2 を、CS1764A では 1~4 をそれぞれ使用)。これらのポートナンバーは本体のリアパネルに記載されています(詳細については p.19 参照)。

コンピューターのポート ID は、これが接続されている KVM ポートに基づいて決まります。例えば、ポート 2 の KVM ポートに接続されているコンピューターには、2 番のポート ID が割り当てられます。

このポート ID は、ホットキーでポート選択(p.28 参照)を行う際に、KVM・USB デバイス・オーディオの切替先となるコンピューターを指定するために使用します。

ポートの手動選択に関する代替設定

ホットキーセッティングモードが有効になっている時に[S]キーを押すと、p.35 とは別の方法で、フロントパネルのプッシュボタンを使ってポート切替を行うことができます。方法は下記の通りです。

- ◆ ポート選択ボタンを 1 回押すと、このポートに接続されているコンピューターに KVM・USB・オーディオを切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 回押すと、このポートに接続されているコンピューターにオーディオだけを切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上長押しすると、このポートに接続されているコンピューターに KVM 操作だけを切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンのボタン 1 とボタン 2 を同時に 2 秒以上長押しすると、オートスキャンモードを開始します。詳細については、p.30 をご参照ください。

第4章

ホットキー操作

CS1762A/CS1764Aは、KVMスイッチの操作や設定をキーボードから行うことのできる、使いやすいホットキー機能を各種提供しております。ホットキーを使って、KVM・USB ハブ・オーディオの操作を個別に切り替えることができますので、例えば、ポート1ではKVMを、ポート2ではUSB ハブを、ポート3ではオーディオをそれぞれ別々に選択するという使い方も可能です。

ポート切替

各ポート切替は、いずれも[Scroll Lock]キーを2回押して開始します。下表では、各ホットキーで実行できるアクションについて説明します。

注意: [Scroll Lock]キーの使用が他のプログラムの動作と競合する場合は、このキーの代わりに[Ctrl]キーがお使いいただけます。詳細については、p.32「ポート切替の代替キー」をご参照ください。

ポート切替(循環切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に次のポートに切り替えます。切替順は以下のとおりです。 CS1762A: 1→2→1→2→…… CS1764A: 1→2→3→4→1→2→…… 注意: この操作を行うと、KVM・USB ハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、すべて同じポートに切り替えます。

(表は次のページに続きます)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを次のポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブのみを次のポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。

ポート切替(ダイレクト切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切り替えます。 注意: この操作を行うと、KVM・USB ハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、すべて同じポートに切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを指定したポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切り替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。

(表は次のページに続きます)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM コントロールおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM コントロールは現在のポートのままです。

注意: 表中の **n** は、コンピューターのポートIDを表します(1~4)。詳細については、p.26の「ポート ID の割り当て」をご参照ください。また、ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の **n** の部分に切替対象となるポートIDを適宜入力してください。

オートスキャン

オートスキャンは、一定の時間間隔で自動的にポートを切り替えて表示する機能です。この機能によって、手動で操作しなくても KVM スイッチに接続されたすべてのコンピューターの状態を監視することができます。この機能を実行した場合、ビデオ出力は各ポートを順番に切り替えていきますが、キーボード・マウス・USB 操作の切替は行わず、これらはオートスキャンを開始する直前に選択していたポートにとどまったままになります。ホットキー操作については以下の表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が 5 秒間隔 で切り替わります。デフォルトでは5秒間のスキャンインターバルが設定されています。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が n 秒間隔 で切り替わります。 注意: n の部分には、CS1762A/CS1764A が次のポートに切り替える前に各ポートを表示する時間(秒)を表します。この操作を行う際には、n の部分でポートの表示時間として 1～99 秒の数字を入力してください。

ポート切替ホットキーまたはホットキーセッティングモードを使用する際には、マウスカーソルが現在のコンピューターのディスプレイ内にある必要があります。

オートスキャンモード有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード・マウスの機能がサスペンドされ、オートスキャンモードで使用できるキーボード・マウス操作のみが入力可能となります。通常のキーボード・マウス入力を行う場合には、**[Esc]**キーまたは**スペース**を押して、オートスキャンモードを終了してください。

ホットキーセッティングモード

ホットキーセッティングモードは、CS1762A/CS1764A の設定を行う際に使用します。各操作を行う前には、必ずこのホットキーセッティングモードを起動します。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードを起動する際には、下記の手順に従って操作してください。

1. [Num Lock]キーを押したままにしてください。
2. [-]キー(マイナスキー)を押して指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。

-
- 注意:**
1. ホットキーセッティングモードは別のキー操作でも起動することができます。詳細については p.32 をご参照ください。
 2. [-]キーは押したら 0.5 秒以内に指を離してください。これ以上長くキーを押し続けるとホットキーの起動がキャンセルされます。
-

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると LED は通常の状態に戻ります。

また、ホットキーセッティングモード中は、HSM で有効な操作以外、通常のキーボード・マウス入力はすべて無効になります。

ホットキーセッティングモードでの操作は、コマンド実行後にホットキーセッティングモードが解除されるものと、継続するものがあります。手動でホットキーセッティングモードを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

ホットキーセッティングモードの代替起動キー

デフォルトのホットキーセッティングモードの起動キーがコンピューター上で動作しているプログラムと競合した場合に備え、このキーの代替起動キーが提供されています。

ホットキーセッティングモードの代替起動キーに切り替える場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [H]キーを押して指を離してください。
ホットキーセッティングモードの起動キーが[Num Lock] + [-]から、[Ctrl]+[F12]に変更されます。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元のホットキーセッティングモード起動キーに戻す場合は、もう一度、ホットキーセッティングモードを起動して[H]キーを押してください。

ポート切替の代替キー

ポート切替の起動キーは[Scroll Lock]キーの2度押し([Scroll Lock] [Scroll Lock])から、[Ctrl]キーの2度押し([Ctrl] [Ctrl])に変更することができます。ポート切替の起動キーを変更する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [T]キーを押して指を離してください。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元の[Scroll Lock]キーの2度押しに戻す場合は、もう一度、ホットキーセッティングモードを起動して[T]キーを押してください。

キーボード操作プラットフォーム

CS1762A/CS1764A のデフォルトポートは、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定されています。例えば、お使いのコンソールで PC 互換のキーボードを使用し、ポートには Mac のコンピューターを接続している場合、このポートのキーボード操作プラットフォームの設定を変更し、PC 互換キーボードで Mac キーボードをエミュレーションすることも可能です。操作手順は下記の通りです。

1. プラットフォームの設定対象となるポートで KVM 操作を選択してください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
3. 適切なファンクションキーを押して指を離してください(下記参照)。この操作を終えると、ホットキーセッティングモードを自動的に終了します。

ファンクションキー	操作
[F2]	Mac キーボードのエミュレーションを有効にします。詳細は p.40 「Mac キーボード」をご参照ください。
[F3]	Sun キーボードのエミュレーションを有効にします。詳細は p.42 「Sun キーボード」をご参照ください。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にし、パススルーキーボードモード(エミュレーターを介してではなく、キー入力信号をコンピューターに直接伝送)を有効にします。

注意: キーボード言語を設定する場合は、p.35「ビデオダイナシク」をご参照ください。

切替設定の一覧表示

現在の切替設定一覧を確認する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. テキストエディターやワープロソフトを開いて、ページ画面にカーソルを置いてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
3. [F4]キーを押して指を離し、設定を表示してください。

USB リセット

USB が認識されなくなりリセットが必要になった場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [F5]キーを押して指を離してください。

キーボード言語

キーボード言語を変更する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [F6][*nn*][Enter]キーを押してください。

注意: *nn* はキーボード言語のコードを表す 2 桁の数字です。(US 英語:33、フランス語:08、日本語:15)

ホットキービープ音

ビープ音は有効または無効にすることができます。デフォルトの設定は有効です。ビープ音を無効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [B]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。有効にしたい場合は、もう一度この操作を行ってください。

ポート切替キー

ポート切替キー([Scroll Lock] [Scroll Lock]/ [Ctrl] [Ctrl])は、有効または無効にすることができます。デフォルト設定は有効です。無効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [X][Enter]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。有効にしたい場合は、もう一度この操作を行ってください。

ファームウェアアップグレードモード

CS1762A/CS1764A をファームウェアアップグレードモードにする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. 「upgrade」という文字を入力してください。
3. [Enter]キーを押してください。オレンジのフロントパネル LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

注意: ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、製品本体の電源を切る必要があります。詳細については p.44「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

デフォルト設定のリストア

CS1762A/CS1764A をリセットし、デフォルトのホットキーの設定に戻す場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [R][Enter]キーを押してください。

ホットキーのデフォルト設定は p.52 をご参照ください。

ビデオダイナシンク

ビデオダイナシンクは、ブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時に解像度を最適化する、ATEN 独自の技術です。このビデオダイナシンク機能を起動する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [D]キーを押してください。

注意: モニターを取り外して再接続すると、CS1762A/CS1764A はビデオダイナシンク機能を再実行します。

ポートの手動切替の代替設定

フロントパネルプッシュボタンの手動ポート切替の設定をデフォルトと代替の間で切り替える場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [S]キーを押してください。

詳細については p.26「ポートの手動選択に関する代替設定」をご参照ください。

マウスエミュレーション

デフォルト設定は有効になっています。無効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [M]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。有効にしたい場合は、もう一度この操作を行ってください。

マウスによるポート切替

マウスによるポート切替機能は有効または無効にすることができます。デフォルトの設定は無効です。有効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [W][Enter]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。無効にしたい場合は、もう一度この操作を行ってください。

注意: この機能は、マウスエミュレーションが有効になっている時のみサポートされます。
上記の「マウスエミュレーション」をご参照ください。

その他の OS モード

USB2.0 非対応の OS でキーボードとマウスをリセットする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.31 参照)。
2. [F1]キーを押してください。

ホットキーセッティングモード一覧表

ホットキーセッティングモード(p.31 参照)を起動した後、下記のキーのいずれかを入力して、そのキーに対応した機能を実行してください。

キー	機能
[H]	ホットキーセッティングモードの起動キーを、デフォルト([Num Lock][-])と代替([Ctrl][F12])で交互に切り替えます。
[T]	ポート切替キーを、デフォルト([Scroll Lock][Scroll Lock])と代替([Ctrl][Ctrl])で交互に切り替えます。
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。
[F3]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にし、パススルーキーボードモードを有効にします。
[F4]	テキストエディターのペースト機能を使って、現在の設定を一覧表示します。
[F5]	すべての USB デバイスでリセットを実行します。
[F6][<i>mn</i>][Enter]	キーボード言語を設定します。 注意: <i>mn</i> はキーボード言語のコードを表す 2 桁の数字です。(US 英語:33、フランス語:08、日本語:15)
[B]	ビープ音を有効/無効にします。
[X][Enter]	ポート切替キーを有効/無効にします。
[R][Enter]	ホットキーの設定をデフォルトの状態にリセットします。
[u][p][g][r][a][d][e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。詳細については p.44「ファームウェアアップグレードユーティリティー」をご参照ください。









(表は次のページに続きます)

キー	機能
[D]	ビデオダイナシク機能を起動します。これは、ブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時に解像度を最適化する、ATEN 独自の技術です。
[S]	プッシュボタンの操作設定をデフォルトと代替の間で切り替えます。
[M]	マウスエミュレーションを有効/無効にします。
[W]	マウスによるポート切替を有効/無効にします。
[F1]	USB2.0 非対応の OS でキーボードとマウスのリセットを実行します。

第5章 キーボードエミュレーション

Mac キーボード



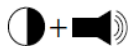




キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換キーボードから Mac システムのキーボードのファンクションキーを使用することができます。詳細は下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合は、最初に入力するキー([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

Sun キーボード

[Ctrl]キーと他のキーを組み合わせることで入力することによって、PC 互換キーボードから、キーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun システムのキーボードのファンクションキーを使用することができます。詳細は下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合は、最初に入力するキー([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

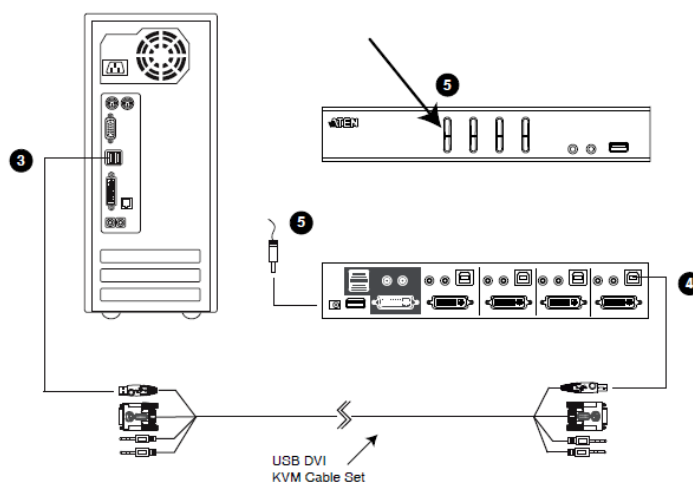
第6章

ファームウェアアップグレードユーティリティ

CS1762A/CS1764A のファームウェアのアップグレードを自動化するために、ファームウェアアップグレードユーティリティと呼ばれる Windows ベースの専用ツールを提供しています。このツールは各デバイスのファームウェアアップグレードパッケージに含まれています。弊社 Web サイトに定期的にアクセスいただき、最新版のパッケージで製品のファームウェアをアップグレードしてください。

作業を始める前に

1. 製品に接続されていないコンピューターから ATEN のサポートサイトにアクセスし、お使いのデバイス(CS1762A/CS1764A)の型番をリストから選択して、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージの一覧を表示してください。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新版)を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. お使いのシステムから CS1762A/CS1764A を切り離し、製品本体の電源を OFF にしてください。その後、USB DVI KVM ケーブルの USB タイプ A コネクタを、お使いのコンピューターの USB ハブポートに接続してください。



4. USB DVI KVM ケーブルの反対側にある USB タイプ B コネクタを、製品本体 KVM セクションのポート 1 にある USB タイプ A ポートに接続してください。

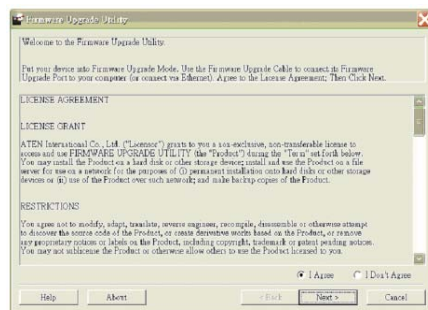
注意: USB DVI KVM ケーブルの USB タイプ B コネクタは、どのような USB タイプの KVM ポートセクションにも接続できますが、下記の手順 5 にあるポート選択プッシュボタンはポート 1 に接続しなければなりません。

5. ファームウェアアップグレードモード(p.35 参照)を起動してください。フロントパネルにあるオレンジの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

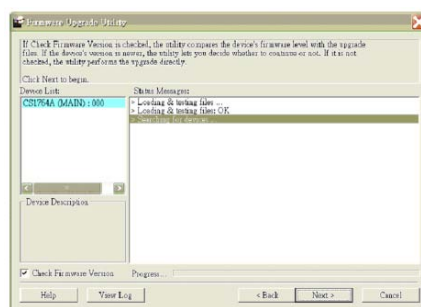
アップグレードの開始

1. ダウンロード済みのファームウェアアップグレードパッケージファイルのアイコンをダブルクリックするか、このファイルのフルパスをコマンドラインで指定するかして、パッケージを実行してください。「Firmware Upgrade Utility」のウェルカム画面が表示されます。

2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。

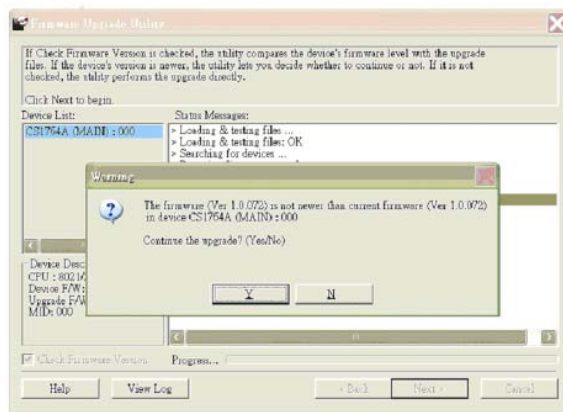


3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。このユーティリティはお使いのシステム構成を自動検出し、このパッケージでアップグレードできる全デバイスを「Device List」パネルに一覧表示します。



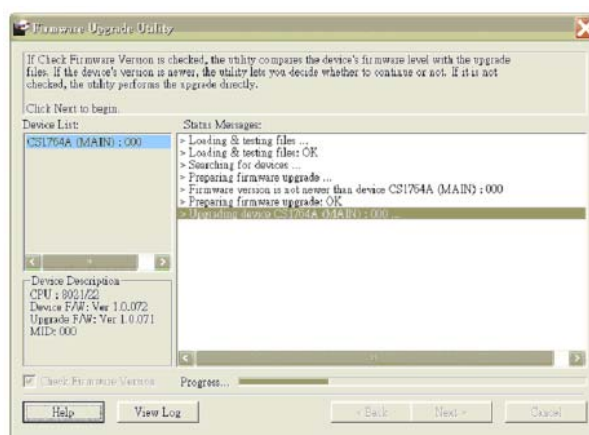
4. 一覧からデバイスを選択すると、このデバイスの説明が「Device Description」パネルに表示されます。デバイスを選択したら、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行してください。

「Check Firmware Version」の項目を有効にすると、ユーティリティーはデバイスとアップグレードファイルの間でファームウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合は、操作を続行するかキャンセルするかの選択を促すダイアログが表示されます。



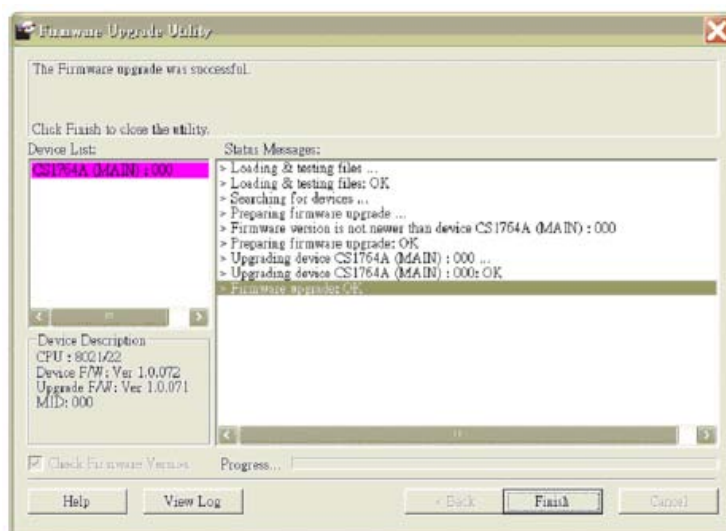
「Check Firmware Version」の項目を有効にしなかった場合、ユーティリティーはバージョンの比較を行わずにアップグレードファイルのインストールを行います。

アップグレードが進むにつれ、ステータスメッセージは「Status Message」パネルに、また、完了までの進捗は「Progress」バーにそれぞれ表示されます。



アップグレード成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面が表示されて処理が成功したことを表します。



ファームウェアアップグレードユーティリティを終了する場合は、「**Finish**」ボタンをクリックしてください。

操作が成功すると、CS1762A/CS1764A はファームウェアアップグレードモードを終了して、リセットを行います。

アップグレード失敗

「Upgrade Succeeded」画面が表示されない場合、アップグレードが失敗したことを表します。操作をやり直す場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. 電源ジャックからアダプターを取り外し、CS1762A/CS1764A の電源を OFF にしてください。
2. フロントパネルのモード選択ボタン(p.16 参照)を長押ししてファームウェアアップグレードモードを起動し、CS1762A/CS1764A の電源を ON にしてください。オレンジの LED ランプと一緒に点滅します。
3. ファームウェアアップグレードの手順に従って、もう一度操作し直してください。

付録

製品仕様

機能		CS1762A	CS1764A
コンピューター接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
コンソール側 対応インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
ポート選択方法		プッシュボタン、ホットキー、マウス	
コンピューター側 コネクタ	キーボード	USB タイプ B メス×2	USB タイプ B メス×4
	マウス		
	モニター	DVI-I メス×2	DVI-I メス×4
	スピーカー	ミニオーディオジャック×2	ミニオーディオジャック×4
	マイク	ミニオーディオジャック×2	ミニオーディオジャック×4
コンソール側コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	DVI-I メス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャック×2	
	マイク	ミニオーディオジャック×2	
スイッチ	ポート選択	プッシュボタン×2	プッシュボタン×4
USB 2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
LED	オンライン/ ポート選択	オレンジ×2	オレンジ×4
	USB リンク	グリーン×2	グリーン×4
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
スキャンインターバル		1~99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	

(表は次のページに続きます)

機能		CS1762A	CS1764A
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V / 2.4A	
消費電力		DC5.3V、9.0W	DC5.3V、10.7W
解像度		最大 1,920×1,200@60Hz DDC2B 準拠	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		730g	940g
サイズ(W×D×H)		210×87×55mm	270×87×55mm
同梱品		2L-7D02U(1.8m)ケーブル ル×2 電源アダプタ×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1	2L-7D02U(1.8m)ケーブル ル×4 電源アダプタ×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1

トラブルシューティング

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、ケーブルが KVM スイッチおよびコンピューターの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

また、これらの問題は、ファームウェアのアップグレードの適用によって解決することがあります。現在お使いのバージョンが最新でない場合は、最新版のファームウェアを適用することを推奨します。詳細については p.44 の「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

問題	考えられる原因	解決方法
動作に異常が見られる。	本体に十分給電されていない。	DC5.3V 電源アダプターを使用されていない場合は、これを使用してください。既に電源アダプターをお使いの場合は、この電源アダプターがシステム仕様に適しており、本体に正しく接続されて動作していることを確認してください。
	キーボードやマウスのリセットが必要。	コンソールポートからケーブルを一旦抜いて接続し直してください。
	コンピューターと接続されていない。	本体とコンピューターをつなぐケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	KVM スイッチのリセットが必要。	使用しているすべてのデバイスの電源を OFF にしてください。また、KVM スイッチの電源も OFF にし、5 秒程経過した後で電源を入れ直してください。
USB デバイスが反応しない。	USB ポートのリセットが必要。	本体リアパネルの USB ポートから USB ケーブルを一旦抜いて、接続し直してください。
		USB リセットのホットキー(p.34 参照)を使って USB ポートのリセットを行ってください。

(表は次のページに続きます)

問題	考えられる原因	解決方法
[Scroll Lock]キーを2度押し のホットキーでポートを 切り替えることができな い。	キーボードが[Scroll Lock] キーによる起動に対応して いない。	ホットキーセッティングモードの代替起 動キーに切り替えてください。詳細に ついては p.32「ホットキーセッティング モードの代替起動キー」をご参照くださ い。
KVMケーブルをホットブラ グした後でモニターに何 も表示されなくなる。	HDMI/DVI グラフィックカ ードがケーブルのホットブ ラグに対応していない。	使用するデバイスの電源をすべてOFF にしてください(p.20 参照)。製品本体の 電源を OFF にし、すべての KVM ケー ブルが正しく接続されていることを確認 してください。確認できたら、本体の電 源を ON にし、コンピューターの電源を ON にしてください。
ポートを切り替えても、モ ニターに何も表示されな い。	モニターが新しい、または セットアップ後に初めて使 用する。	ポートをもう一度切り替えて、PC の EDID 情報がモニターに送られるまで 2 秒以上待機してください。
	ポート切替時に PC の EDID 情報がモニターに送 られない。	[d]ホットキーを使ってビデオダイナシ クをもう一度起動するか、別の PC に切 り替えて製品本体に再接続してくださ い。詳細は p.38「ホットキーセッティング モード一覧表」をご参照ください。

ホットキーのデフォルト設定

工場出荷時におけるホットキーのデフォルト設定は下表のとおりです。

設定	ホットキー	デフォルト
ポート切替	[T]	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
ホットキーセッティングモードの起動	[H]	[Num Lock][-]
オートスキャンのインターバル	[Scroll Lock] [Scroll Lock][A][Enter]	5 秒
キーボード操作プラットフォーム	[F10]	PC 互換
マウスエミュレーション	[M]	有効
マウスによるポート切替	[W]	無効
ビデオダイナシンク	[D]	有効
ポート切替キー(ON/OFF)	[X][Enter]	有効
ビープ音	[B]	有効
キーボード言語	[F6][nn][Enter] 注意: nn は言語番号	英語